

# 少年の主張

## 闇と光の中で

東明館中学校2年 高松麻衣

スマートフォンからあふれだす光。しかし、その裏側には深い闇が潜んでいる。

平成28年11月に開催された第36回基山町青少年健全育成町民大会で、小・中学生が発表された内容を紹介します。

今日の世界ではインターネット通信網が発達し、中でもスマートフォンが飛躍的な進歩を上げています。その中でもSNSが広い世代の人々に利用されています。皆さんはSNSを利用することがありますか。今までにない便利な社会を築きあげたネット。しかし、そのネットには大きなデメリットも存在するのです。大人も子どもも、もう一度ネットの使用方法を見直すときに来ているのではないのでしょうか。

まず、SNSのメリットは伝えたいことを瞬時に伝えることができるという点です。私もLINEを利用していますが、宿題でわからない問題や時間割を忘れてしまったときに、友人にさっと聞くことができます。また、グループなどを作ると、その中で楽しくトークをすることができ、一層、絆が深まります。私は、これらのメリットを上手

く生かせば、人々とネットも楽しくつながることができると思います。確かにSNSとネットには暗い一面も存在します。暗い一面とは、二つあると私は考えます。まず第一に、現在の若者の学力低下です。近年、スマホ依存症を発症する人も増えていると聞きます。10人に8人がスマホ依存というデータがあります。驚きです。スマホに振り回されている人が多いのではないのでしょうか。私はスマホに依存するのではなく、勉強に役立つアプリなどを上手に活用しながら、ネットと付き合うべきだと思います。第二に、ネットいじめの被害の増です。近年起きた中学生の自殺問題において、過言でないほど、ネットいじめが関与しています。平成28年に福岡県で起きた女子・男子中学生自殺問題もそうでした。そのような陰湿ないじめをなくすためにも、何かを投稿する前に、今一度、自らを振り返ってみることが大切だと考えます。ネット上の言葉には、どうしてもト

ゲが付いてしまいます。私も電話で話すときは、声の抑揚などで優しさなどをくみ取ることができます。人間の生の声には、温かさや力強さなどがありますよね。しかし、ネットの文面には、言葉の隅々にトゲを見つけてしまい、本意をくみ取ることがあまりできませんでした。そのような体験から、私は、大切なことを伝えるときは、相手の目をしつかり見つめて、面と向かって話すことを心掛けています。

さて、最近、あなたは電車に乗りましたか。バスに乗りましたか。車内の子供はどうでしたか。大人も子どもも、老若男女も、スマートフォンを手にしていませんでしたか。色とりどりのスマートフォンの花が車内に咲いていませんか。電車やバスに乗って何を楽しむか。その楽しみの一つに、風景を楽しむことがあります。基山町には自然がいっぱいあり、遠い山々が少しずつ秋の気配に移り変わる様子や、空の色が秋色に変化していることを気がつかずに過ごしている人も多くいるのではないのでしょうか。秋の風景を見ながら、勉強や仕事の疲

れをほんの一瞬でも癒やすことができます。四季があり、緑豊かな日本に住んでいるのですから、美しい日本の風景を大切にしたいと思いませんか。

スマートフォンによって得られるもの、そして失われるもの。それらをしっかりと私たちは考えながら、ネットと向き合うことが求められています。便利な文明の機器は、未来に向けて、さらに進化していくことでしょう。変わるものと変わらないもの。そんな世界があると私は思います。私はネット社会と人間が上手に付き合っていくことがそが大事だと考えます。闇と光の中で、人間は何を五感で捉え、豊かな毎日を送るのでしょうか。ネットの欠点も理解しながら、ネット社会と共存していくことが現代人に必要です。だからこそ、私たちはたまにはスマートフォンから離れて、家族と向き合う時間や風景を愛でる時間を意識的に作っていきましょう。これから先、ネット社会の拡大はますます進んでいくでしょう。私は、人生がネット色に染まってしまわないように、豊かな時間を作っていきます。